

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名:横浜市道路局

事業の名称:都市計画道路環状2号線

(新横浜駅北口地区)街路整備事業

実施都市名:横浜市

事業目的

新横浜駅は東海道新幹線の停車駅で、1日約22万人の乗降客数を数える首都圏南部の玄関口となっています。今後もさらに利用者が増加することが予想されており、それに対応した駅施設の整備と、イベント開催時の大勢の歩行者に対応でき、バリアフリー化された歩行者空間の整備が求められていました。これらの課題に対応するため、JR東海が施工する新幹線駅舎の改良と駅ビルの建設と一体的に歩行者デッキの整備と駅前広場の再整備を行ったものです。

事業概要

事業名：都市計画道路環状2号線（新横浜駅北口地区）
街路整備事業

路線名：都市計画道路環状2号線（新横浜駅北口地区）

事業箇所：港北区新横浜二丁目1番地

歩行者デッキ：新設延長350m、幅員4～14m

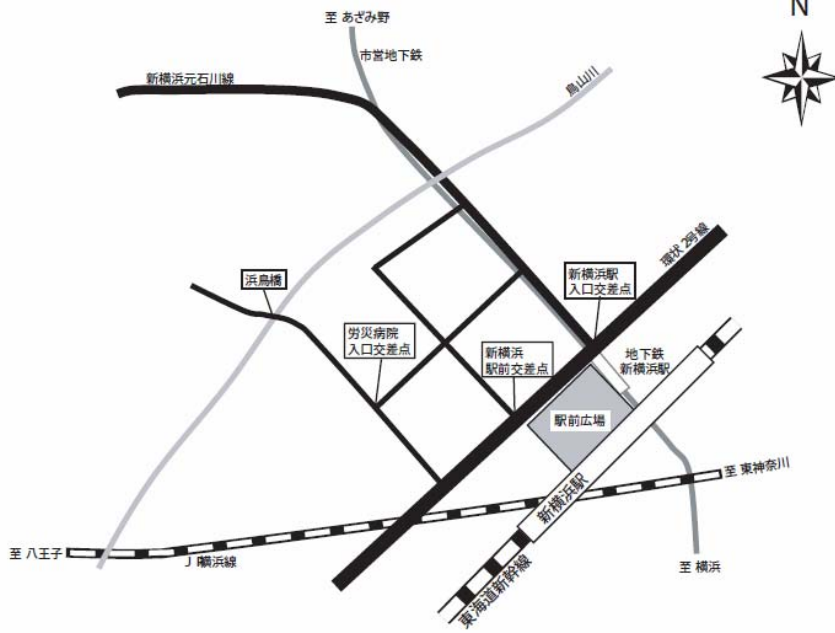
駅前広場：10,000㎡

総事業費：約32億円

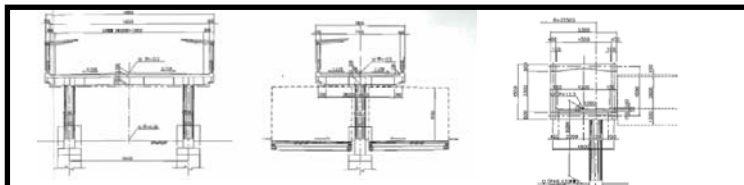
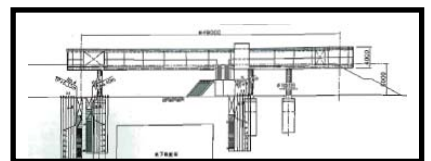
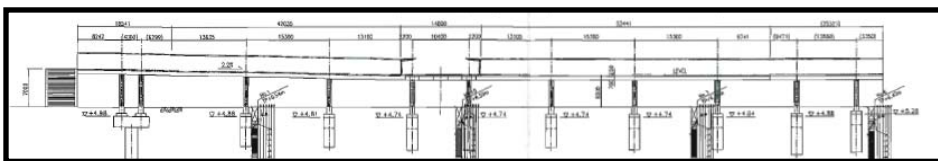
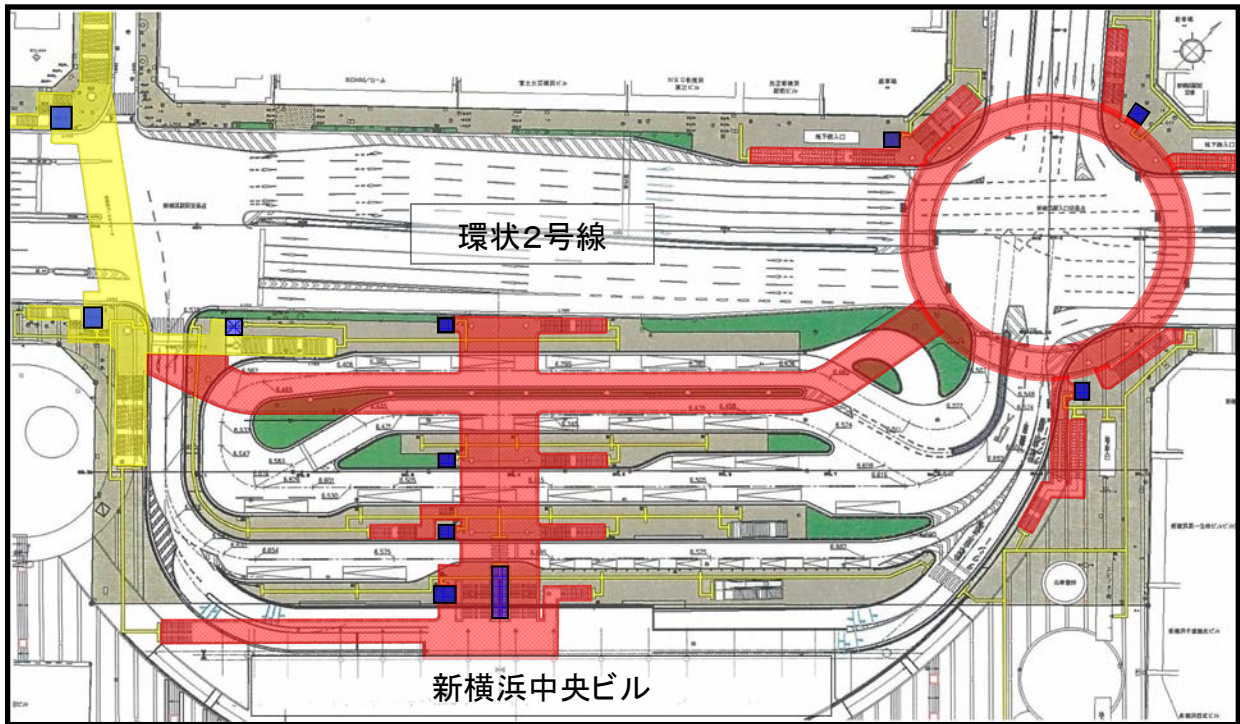
事業期間：平成15年～平成20年

歩行者デッキを、駅前広場及び主要幹線道路である環状2号線上に整備するとともに、駅前広場についてはバスロータリーの改良などを行いました。要所にはエレベータを設け、バリアフリー経路を確保しました。

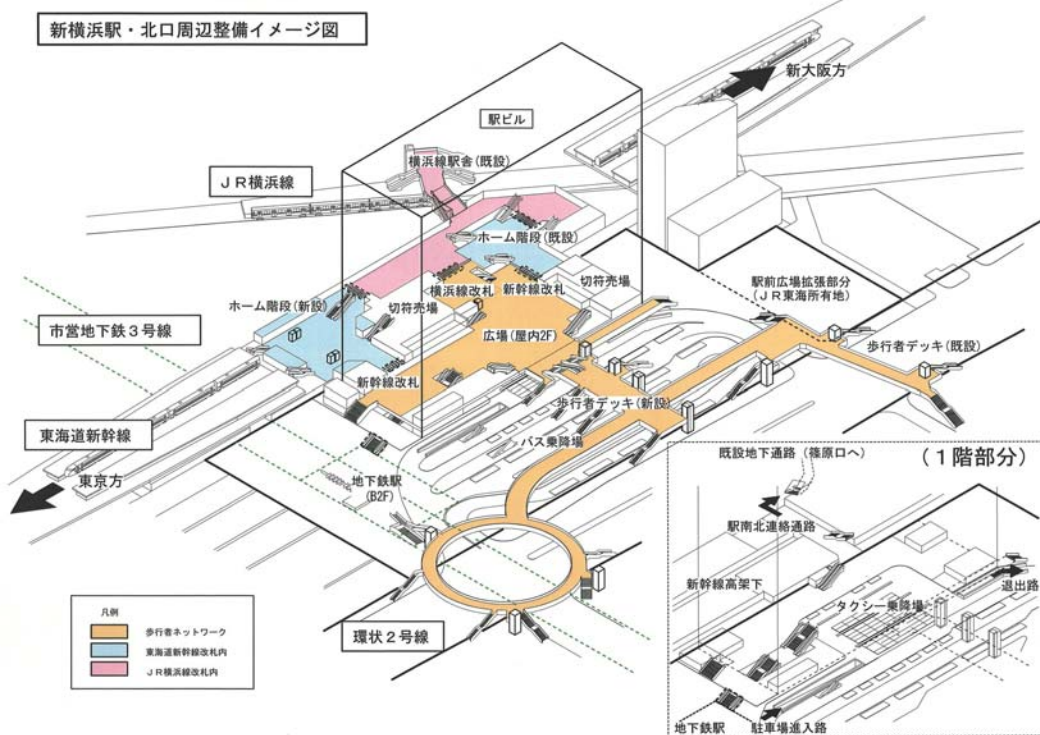
事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断図)



環状2号線(新横浜駅北口地区)の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名:(都)環状2号線(新横浜駅北口地区)街路整備事業
 路線名:(都)環状2号線(新横浜駅北口地区)
 事業箇所:港北区新横浜二丁目1番地
 歩行者デッキ:新設延長350m、幅員4~14m
 駅前広場:10,000㎡
 総事業費:約32億円
 事業期間:平成15年~平成20年



「整備効果」

■歩行者デッキの整備

デッキを利用することにより、ビル2階にある駅改札から、地上に降りることなく、路線バス乗り場へアクセスすることができるとともに、環状2号線も横断することができ、利用者の安全性、利便性が向上しました。それにより、横断歩道を撤去し、錯綜していた歩行者と車両を分離し、安全性の向上、交通の円滑化、歩行者導線のバリアフリー化を図りました。

■駅前広場の整備

バスと観光バスの出口を新横浜駅入口交差点に変更して、一般車、タクシーと分離し、新横浜駅前交差点付近でのバスの合流をなくすことにより、車両の通行区分を明確化し、安全性の向上を図るとともに、バスの定時運行、環状2号線本線の混雑緩和を図りました。

「その他の事業効果」

■デッキ形状の景観への配慮

交差点部の歩行者デッキについて、地下鉄駅舎等の地下構造物及び地下埋設物の支障をさけるため橋脚位置の再検討を行うとともに、デザイン検討を行い、橋脚位置の自由度及び横浜の玄関口にふさわしいシンボル空間の形成を図ることから円形形状としました。

事業前写真

平成15年6月撮影



平成15年6月撮影

平成15年6月撮影



事業後写真

平成21年3月撮影



平成21年3月撮影



平成21年3月撮影

